

## 油ヶ淵水質浄化懇談会における合意事項

平成4年5月1日

近年、都市化の進展、生活様式の高度化・多様化等に伴い、生活排水による水質汚濁など住民の日常生活に起因する都市・生活型公害の比重が高まっております。

こうした、都市・生活型公害は汚濁発生源が個々に小さく、汚濁の発生者が一方では被害者である場合も多いことから、住民の理解と協力を得て適切に対応していくことが大切であります。

油ヶ淵は、都市化の進展や閉鎖性水域であることなどから、水質汚濁や富栄養化の現象が見られるところであります。

このため、愛知県と碧南市、安城市、西尾市及び高浜市が、協力し、種々の水質保全対策を実施してきたところでありますが、今後更に一層の改善を図るため、今回、愛知県知事並びに碧南市長、安城市長、西尾市長及び高浜市長が、一堂に会して懇談しました。

その結果、油ヶ淵の浄化のために、生活排水対策が最も重要であることから、次のことを確認しあいました。

- (1) 油ヶ淵へ流入する汚濁物質の削減対策として、下水道、合併処理浄化槽、農業集落排水処理施設等の整備を積極的に進めること
- (2) 油ヶ淵の中に長年に亘って堆積したヘドロを浚渫するなどの湖や河川そのものの対策をすること
- (3) 油ヶ淵の環境は、人々の生活活動とも密接に関わっていることから、生活排水対策の必要性を啓発し、地域住民の理解と協力のもと、環境にやさしいライフスタイルの定着を図ること
- (4) 油ヶ淵の水質浄化に関する調査・研究をすること

今こそ、油ヶ淵の水質を浄化し、生活に潤いを与える油ヶ淵として、次の世代に引き継ぐために、私たち世代が精一杯努力し、それぞれの立場での取組みを強化し、強調しながら行動していくことをここに合意しました。